

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう



「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

避難行動判定フロー

あなたのとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう！

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住いの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい

災害危険があるので、原則として(※)、自宅の外に避難が必要です

例外

(※) 浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

(※) 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3が出たら、市が開設した早期風水害等避難所にしましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4が出たら、市が開設した指定緊急避難場所に避難しましょう